



BRAUN

Flöten & Piccoli



アントン・ヨハネス・ブラウン



アントニア・エヴァ・ブラウン

ブラウン工房は1896年に当時のオーストリア＝ハンガリーでアントン・ブラウン・シニアによって創業されました。ブラウン・シニアは楽器製作に必要ないろいろな器具作りを行っていました。ブラウン・シニアは1928年に死去。息子のアントン・マイケル・ブラウンが工房を引き継ぎ、当時はサクソフォンのみ製作していました。マイケルは1973年に引退。マイケルの息子、アントン・ヨハネス・ブラウンに引き継がれます。1977年、ヨハネスはドイツに居を移し、フルートとピッコロの工房を構えます。ヨハネスの娘、アントニア・エヴァ・ブラウンも父から楽器製作の専門知識を学び、1998年からヨハネスのアシスタントとして働きはじめます。2001年、楽器製作学校を卒業後は本格的に製作に携わり、ブラウンブランドの継続と高品質を支えています。

ブラウンのフルート、ピッコロの最大の魅力は、たっぷりと吹き込むことができること、そして歌い込むほどその豊かな響きが際限なく広がり、どんな演奏家にも対応できるキャパシティがあることです。木製ならではの柔軟で温かい音色と、オーケストラやソロで要求されるダイナミクスの幅、どんな状況でも奏者の最良の演奏を引き出す操作性の良さと、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のアンドレアス・ブラウやミハエル・ハーゼルをはじめ多くの演奏家に愛用されています。

ブラウンでは材料に一切妥協することなく、十分に乾燥させた密度が濃くキメの細かい最高品質のアフリカングラナディア材のみを使用しています。良質な素材は伸びやかで艶やかな音を最大限に引き出し、その演奏を際立たせます。

Flute



1993年に発売された木製フルートは、ライザーにゴールド素材を取り入れることで金属管に近い発音性を実現。これによって、より繊細な音色の変化やタンギングのバリエーションが広がります。



- ・音量の拡大と、さらなる音の速達性を持ち併せています。
- ・特に第3オクターブでは、鋭くなく、豊かで温かい音色が得られます。
- ・より柔軟な音色の変化によりレガート操作がより容易になります。
- ・他楽器との音色の融合性に優れています。
- ・トラディショナルパッドを採用しています。

ハンドメイド木管フルート(グラナディア製 キー/シルバー C足)
ハンドメイド木管フルート(グラナディア製 キー/シルバー H足)
オフセットEメカニズム(オプション)
インラインEメカニズム(オプション)
頭部管(ブラウン製木管フルート専用 ウェーブ型歌口)
頭部管(ブラウン製木管フルート専用 ウェーブ型歌口 ライザー/14Kゴールド)
H足部管

すべてオープンブライス

Piccolo



1985年に発売されて以来、世界を代表するオーケストラや数多くのフルート奏者に使用され、現在、世界最高のピッコロのひとつと認められています。

まったく新しい設計として、親指キー(ブリチアルディキー)のトーンホールが、1つのトーンホールになっています(通常は2つ)。この設計は、通常のコンサートフルートの音響条件に近くなり、より自然な響きを得ることができるとともに、ピッコロ特有のG#メカニズムが不要になります。



湿気に強いシリコンゴムで特殊コーティングされた独自のパッドを使用しています。このシリコンパッドのトーンホール側の表面構造は木の表面構造と似ているため、パッドとトーンホールが接触する際の雑音を軽減します。これにより、湿気に左右されない安定したパッド構造になり、より良い状態を長期間継続することが可能です。

- ・中音域、低音域では、密度の濃いフォーカスされた音で十分な音量を持ち併せています。
- ・全音域にわたって、発音性のよいウェーブタイプの歌口設計となっています。



2010年にはC足ピッコロが発売されました。

- ・D足に比べて、より幅広いダイナミクスが得られます。
- ・第3オクターブでのふくよかで豊かな音色が期待できます。
- ・全音域にわたって音色のばらつきがなく、音粒のバランスに優れています。
- ・D足ピッコロ同様、独自のシリコンパッドを採用しています。

ハンドメイドピッコロ(グラナディア製 キー/シルバー Eメカニズム付)
ハンドメイドピッコロ(グラナディア製 キー/シルバー Eメカニズム付 C足)
キリリング 金メッキ仕上(オプション)
頭部管(ブラウン製木管ピッコロ専用)

すべてオープンブライス

外観、仕様および価格は予告なく変更する場合がございます。